

屋久島国立公園だより

2008.9.1

環境省屋久島自然保護官事務所 (屋久島世界遺産センター内)

〒891-4311 屋久島町安房前岳 2739-343 TEL:46-2992, FAX:46-2977

E-mail: RO-YAKUSHIMA@env.go.jp

国立公園には、「海中公園地区」という海中景観の素晴らしさやそこに住む多様な海の生き物を守るために指定された区域があります。屋久島では、栗生集落にある塚崎海岸が海中公園地区になっています。塚崎海岸は、屋久島の南西部に位置し、黒潮の影響を受けやすいため、サンゴ礁が発達し、熱帯と温帯の魚が入り混じる多様な生態系が見られます。今年2008年は、世界各国でサンゴ礁への理解を深め、保全活動を広く展開していくための年として、「国際サンゴ礁年2008」に指定されています。そこで今回は、サンゴ礁について特集します。

1. 「サンゴ」と「サンゴ礁」の違いをご存知ですか？

「サンゴ」は一般に南の暖かい海に暮らし、枝やテーブルの形などに成長する生きもののことを指します。一方「サンゴ礁」は、サンゴが死んだ後に残る骨格が海底に積もり、長い時間をかけて作り出す地形のことを指します。例えば塚崎海岸に行くと、浜辺に規則正しく穴のあいた白い石がたくさん落ちています。これがサンゴの骨格です。こうしたサンゴからできる「石」や「砂」が堆積してできたサンゴ礁は、周りの海よりも浅く、海の底まで光が届くため、さらにサンゴにとって快適な生息場所となります。そして、そのサンゴを外敵から身を守る場所として利用する多くの種類の生きものが集まり、熱帯雨林にも匹敵すると言われる多様な生態系を形作ります。

2. サンゴは「動物」でしょうか、「植物」でしょうか？

サンゴはイソギンチャクに近い仲間の「動物」で、海中に漂うプランクトンを食べて暮らしています。一方、サンゴの体内には「褐虫藻(かっちゅうそう)」と呼ばれる植物プランクトンが住んでいます。この「褐虫藻」は太陽の光をエネルギーに変えて(光合成)サンゴに提供しています。この「褐虫藻」から得るエネルギーは、種によっては、サンゴの生存に必要なエネルギー全体の3~9割にも達するとも言われています。このため、夏季の高水温等によるストレスによって「褐虫藻」がいなくなると、サンゴは次第に弱っていき、最後には死んでしまうのです。

サンゴが白く見えることから、「褐虫藻」がいなくなった状態を「白化現象」といいます。

国際サンゴ礁年2008記念 特別展示「覗いてみよう！サンゴ礁の世界」

屋久島世界遺産センターで、屋久島のサンゴ礁に関するパネル展示や写真展を開催しています！
日時：8月29日(金)~10月7日(火)9:00~17:00(入場は16:30まで)
主催：九州地方環境事務所、(財)屋久島環境文化財団、国際サンゴ礁年2008屋久島実行委員会

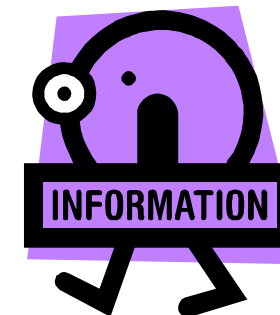
「自然に親しむ集い」

シュノーケル体験のご案内

平成20年9月28日(日)

共催：九州地方環境事務所、(財)屋久島環境文化財団、屋久島町

栗生の塚崎海岸でシュノーケルを体験しながら海中の魚やサンゴ群集を観察します。講師は、(有)屋久島野外活動総合センター(YNAC)の松本毅さんです。



1. 実施場所

屋久島町 栗生塚崎海岸

2. 集合場所

屋久島世界遺産センター前 8時30分
屋久島町役場尾之間支所前 9時00分

3. 解散場所

屋久島町役場尾之間支所前 13時00分
屋久島世界遺産センター前 13時30分

4. 応募方法

9月16日(月)~26日(金)の間に、電話、メール、ファックスにて、屋久島自然保護官事務所までご応募ください。メール・ファックスの場合は、必ず住所・氏名・自宅の電話番号をご記入ください。

なお、応募は「先着順」とさせていただきますので、宜しくお願いします。

5. 募集人数

15名、参加資格は、中学生以上とします。

6. 参加料(保険料)

1人300円。なお、ご家族で参加される場合は、2人目から1人100円とします。

7. 服装、持ち物など

水着、タオル、水筒等(シュノーケルの道具、ライフジャケットなどは、こちらでご用意いたします。)

8. その他

悪天候等のため中止する場合は、当日7時10分までに電話連絡します。

「自然に親しむ集い」のお知らせは、屋久島町の協力により配布されています。

